

令和4年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	令和4年12月16日（金）9時50分～10時05分
出席者	市長、副市長、市長室長、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、行財政局長、行財政局財務課長、環境局長、建設局長、建設局担当局長、建設局担当部長、建築住宅局長
議題	異常高温対策
提案概要	<p>異常高温対策について、5本の柱にて施策を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none">①自然の利活用 小型気象計を設置し取得したデータ等に基づく暑熱環境シミュレーション（市内の暑さの現況把握・将来予測、施策を講じた場合の効果予測）を実施し、日陰の創出などにかかる整備を進め、都市形態の改善を図る。②熱をためない 道路散水などにより、建物・地表面の高温化を抑制する。③人の行動を変える（普及啓発） 効果的な普及啓発により、暑さ回避のための行動変容を狙う。④熱を出さない（人工排熱の低減） 建築物のZEB化・ZEH化を進める。⑤人の感じる暑さ緩和 ミスト散布設備やクールベンチ等、暑熱対応設備を設置する。
会議結果 （主な意見等を含む）	<p>全体の方向性については了。</p> <p>これまで取り組んできたまちなかの適応策に加え、将来の環境変化と影響把握による適応策についてシミュレーションや調査研究を行うとともに、都心の緑化を推進することで、クロススクエアなどの歩行・滞留空間の快適な環境形成を目指すこと、公共・民間建築物の省エネ化のさらなる促進、公民連携による普及啓発も交えながら、SDGsの観点で具体的な取り組みを訴求することにより、企業や大学との連携や協働の促進を図ることについて、局からの提案をもとに議論した。</p> <ul style="list-style-type: none">・市内の暑さ環境の実態を把握し、暮らしやすさの維持・向上の観点から、引き続き多角的に取り組みを検討してほしい。・その際、暑熱環境シミュレーションを効果的に活用しながら、ミ

スト設置や散水等の現在実施している施策も含め、その効果や必要性を検討する。

- ・都心・三宮周辺に小型気象計を設置することで、風や気温等の現況データを把握し、シミュレーションに活用する。